

2020年度第2四半期決算について

2020年10月28日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2020年度第2四半期（2020年4月1日～9月30日）の連結業績についてとりまとめました。

連結の経常損益は、引き続き、グループ全社を挙げた継続的なコスト削減に努めたものの、競争激化や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、東京電力グループの販売電力量が、前年同期比8.3%減の1,025億kWhとなったことなどにより、前年同期比10.1%減の2,248億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費677億円を計上したことや、前年度に計上した特別利益の反動減などから、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前年同期比64.7%減の1,486億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第2四半期 (A)	前年同期 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
売上高	28,342	31,756	△ 3,414	89.2
営業損益	1,813	1,966	△ 152	92.3
経常損益	2,248	2,499	△ 251	89.9
特別損益	△ 677	2,007	△ 2,685	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益	1,486	4,206	△ 2,720	35.3

【セグメント別の経常損益】

2020年度第2四半期のセグメント別の経常損益については、以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、基幹事業会社からの受取配当金の減少や東京電力エナジーパートナーへの卸電力販売の減少などにより、前年同期比809億円減の633億円の利益となりました。
- 東京電力燃料＆パワー株式会社の経常損益は、株式会社JERAにおいて、燃料費調整制度の期ずれ影響が好転したものの、需給収支が悪化したことなどにより、前年同期比131億円減の453億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、新型コロナウイルスの影響などによるエリア需要減があったものの、低圧需要の増加による託送収益の増加などにより、前年同期比39億円増の1,238億円の利益となりました。

- ・東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、競争激化や新型コロナウイルスの影響などにより、売上高の減少があったものの、東京電力ホールディングスからの購入電力の減少などにより、前年同期比 24 億円増の 459 億円の利益となりました。
- ・東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、東京電力エナジーパートナーへの卸電力販売の増加などにより、前年同期比 185 億円増の 367 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第 2 四半期 (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A-B	A/B (%)
経 常 損 益	2,248	2,499	△ 251	89.9
東京電力ホールディングス	633	1,442	△ 809	43.9
東京電力フュエル&パワー	453	584	△ 131	77.5
東京電力パワーグリッド	1,238	1,199	39	103.3
東京電力エナジーパートナー	459	434	24	105.8
東京電力リニューアブルパワー	367	181	185	202.7

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 報道グループ 03-6373-1111 (代表)

2020年度第2四半期決算概要

2020年10月28日

東京電力ホールディングス株式会社

【2020年度第2四半期決算のポイント】

- **売上高**は、競争激化や、新型コロナウイルス感染症の影響で販売電力量が減少したことなどにより**減収**
- **経常損益**は、グループ全社を挙げた継続的なコスト削減に努めたものの、売上高が減少したことなどにより**減益**
- **四半期純損益**は、前年度特別利益の反動減などにより**減益**

1. 連結決算の概要

(単位: 億kWh)

	2020年4-9月	2019年4-9月	比較	
			増減	比率(%)
販売電力量(連結)	1,025	1,118	△ 93	91.7

(単位: 億円)

	2020年4-9月	2019年4-9月	比較	
			増減	比率(%)
売上高	28,342	31,756	△ 3,414	89.2
営業損益	1,813	1,966	△ 152	92.3
経常損益	2,248	2,499	△ 251	89.9
特別利益	-	3,672	△ 3,672	-
特別損失	677	1,664	△ 987	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益	1,486	4,206	△ 2,720	35.3

2. セグメント別のポイント

【東京電力ホールディングス（HD）】

- 経常損益は、基幹事業会社からの受取配当金の減少や東京電力EPへの卸電力販売の減少などにより**減益**

【東京電力フュエル&パワー（FP）】

- 経常損益は、JERAにおいて燃料費調整制度の期ずれ影響が好転したものの、需給収支が悪化したことなどにより**減益**

【東京電力パワーグリッド（PG）】

- 経常損益は、コロナ影響によるエリア需要減があったものの、低圧需要の増加による託送収益の増加などにより**増益**

【東京電力エナジーパートナー（EP）】

- 経常損益は、競争激化やコロナ影響による売上高の減少があったものの、東京電力HDからの購入電力の減少などにより**増益**

【東京電力リニューアブルパワー（RP）】

- 経常損益は、東京電力EPへの卸電力販売の増加などにより**増益**

3. セグメント別の概要

(単位:億円)

	2020年4-9月	2019年4-9月	比較	
			増減	比率(%)
売上高	28,342	31,756	△ 3,414	89.2
東京電力ホールディングス	2,679 ※	3,217	△ 537	83.3
東京電力燃料&パワー	38	43	△ 4	89.2
東京電力パワーグリッド	8,628	8,629	△ 0	100.0
東京電力エナジーパートナー	25,192	29,008	△ 3,816	86.8
東京電力リニューアブルパワー	801 ※	598	+ 203	134.0
調整額	△ 8,998 ※	△ 9,740	+ 741	—
経常損益	2,248	2,499	△ 251	89.9
東京電力ホールディングス	633 ※	1,442	△ 809	43.9
東京電力燃料&パワー	453	584	△ 131	77.5
東京電力パワーグリッド	1,238	1,199	+ 39	103.3
東京電力エナジーパートナー	459	434	+ 24	105.8
東京電力リニューアブルパワー	367 ※	181	+ 185	202.7
調整額	△ 902 ※	△ 1,341	+ 439	—

※ 当期との比較のため、前年4-9月はHD-RP間で値を組み替えている

4. 連結特別損益

(単位: 億円)

	2020年4-9月	2019年4-9月	比較
特別利益	-	※2 3,672	△ 3,672
特別損失	677	1,664	△ 987
原子力損害賠償費	※1 677	589	+ 87
その他	-	※3 1,075	△ 1,075
特別損益	△ 677	2,007	△ 2,685

※1 出荷制限指示等による損害や風評被害等の見積り増など

※2 持分変動利益、災害損失引当金戻入額、原賠・廃炉等支援機構資金交付金

※3 福島第二廃止損失、災害特別損失、財産偶発損

5. 連結財政状態

- 総資産残高は、現金及び預金の増加などにより 1,722億円増加
- 負債残高は、社債の増加などにより 380億円増加
- 純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより 1,342億円増加
- 自己資本比率は、0.7ポイント改善

2020年3月末 BS

資産 11兆9,578億円	負債 9兆409億円
自己資本比率 24.3%	純資産 2兆9,168億円

負債の増
+380億円

- ・社債の増
+5,394億円
- ・未払費用、買掛金、
未払金などの減
△ 4,692億円

純資産の増
+1,342億円

- ・親会社株主に帰属する
四半期純利益の計上
+1,486億円

自己資本比率
0.7ポイント改善

2020年9月末 BS

資産 12兆1,301億円	負債 9兆789億円
資産の増 +1,722億円 <small>・現金及び預金の増加 +1,221億円</small>	純資産 3兆511億円
自己資本比率 25.0%	

エリア需要

(単位: 億kWh)

	2020年4-9月	2019年4-9月	比較	
			増減	比率(%)
エリア需要	1,313	1,345	△32	97.7

為替/CIF

	2020年4-9月	2019年4-9月	増減
為替レート(インターバンク)	106.9 円/ドル	108.6 円/ドル	△1.7 円/ドル
原油価格(全日本CIF)	36.5 ドル/バレル	68.9 ドル/バレル	△32.4 ドル/バレル

(参考) 連結前年同期比較 ① ～増減図～

経常損益

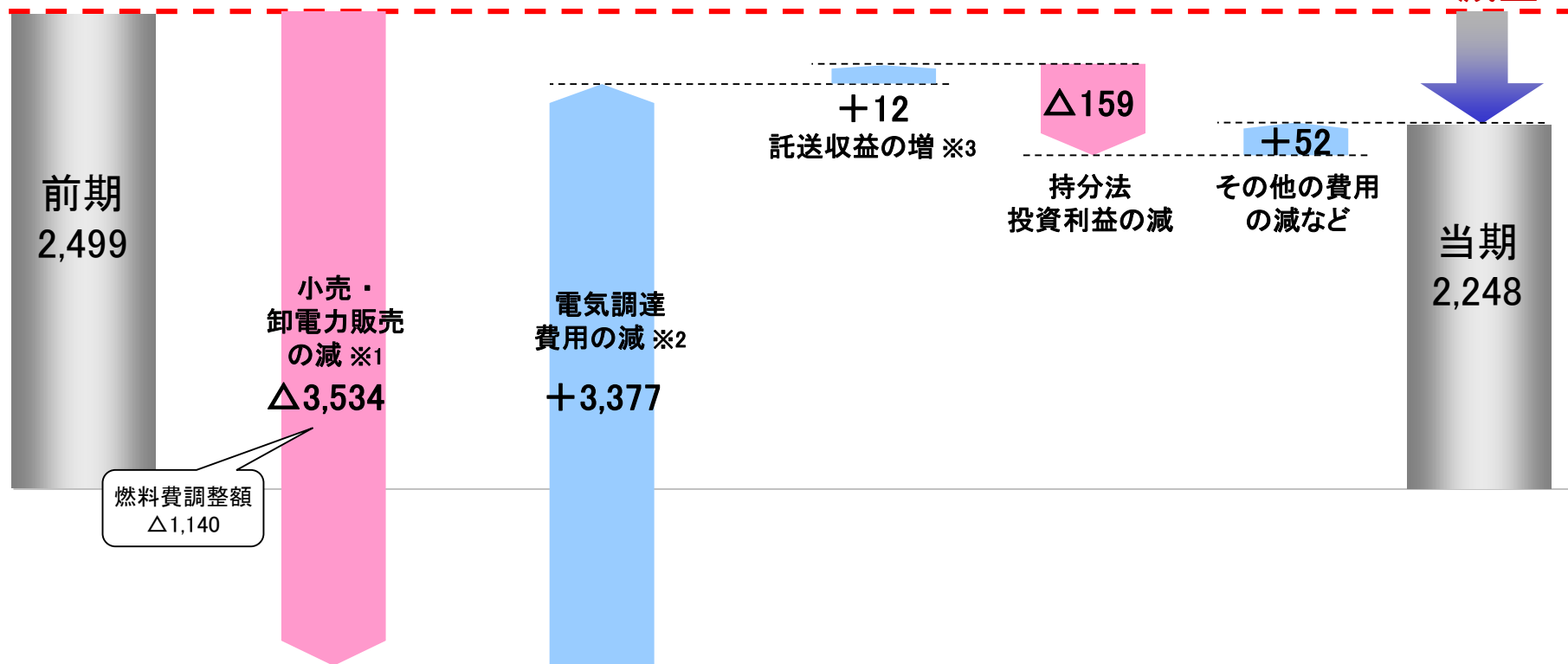
(単位: 億円)

需給・託送収支 $\Delta 144$

その他経常収支 $\Delta 106$

販売関連(再エネ控除後)

エリア需要関連



※1 小売・卸電力販売は間接オークションによる影響を含んでおり、託送費用(インバランスを除く)影響を控除している

※2 電気調達費用は間接オークションによる影響を含んでいる

※3 託送収益はグループ内取引を含み、インバランス収支の影響を除いている

(参考)連結前年同期比較 ② ～数表～

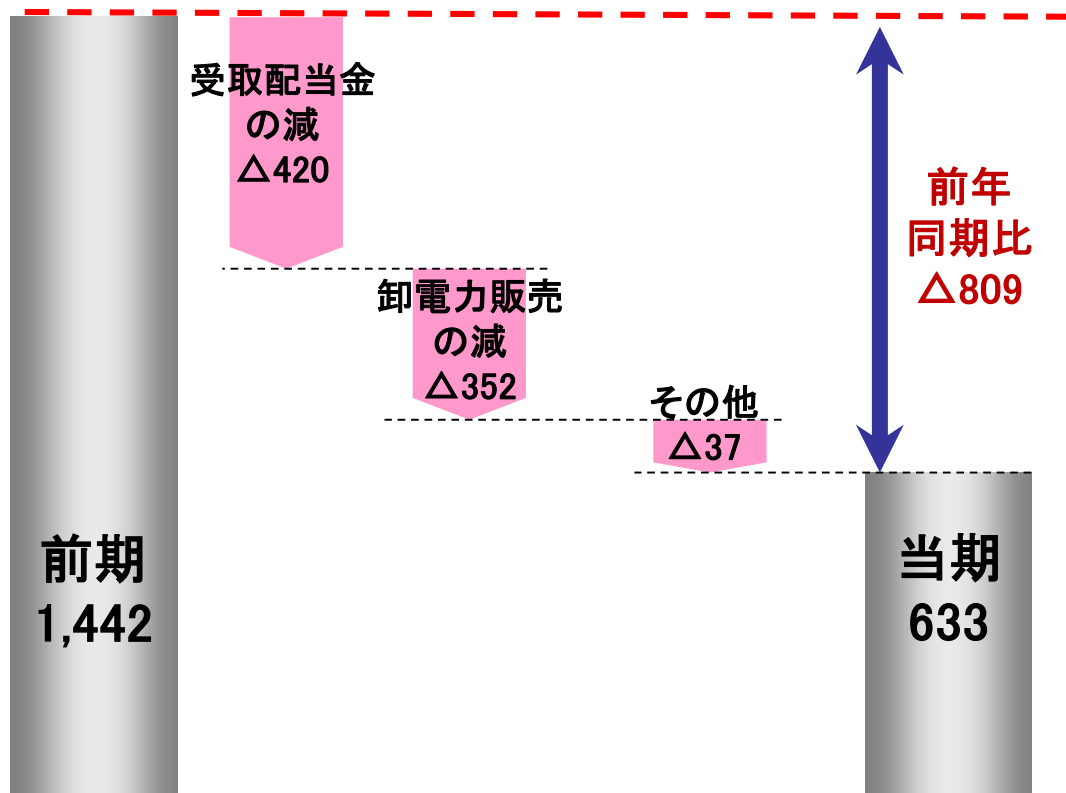
(単位:億円)

	2020年4-9月	2019年4-9月	増減
経常利益	2,248	2,499	△251
需給・託送収支	9,627	9,772	△144
小売・卸電力販売	13,783	17,318	△3,534
(△) 電気調達費用	△11,080	△14,457	+3,377
託送収益 ※	6,923	6,911	+12
その他経常収支	△7,379	△7,272	△106
持分法投資利益	663	822	△159
(△) 減価償却費	△1,996	△2,040	+44
(△) 設備関係費	△1,176	△1,131	△44
その他	△4,870	△4,922	+52

※ 託送収益はグループ内取引を含み、インバランス収支の影響を除いている

経常損益

(単位:億円)



収支構造

収益は、配当収入や廃炉等負担金収益、経営サポート料や原子力の卸電力販売など

経常損益

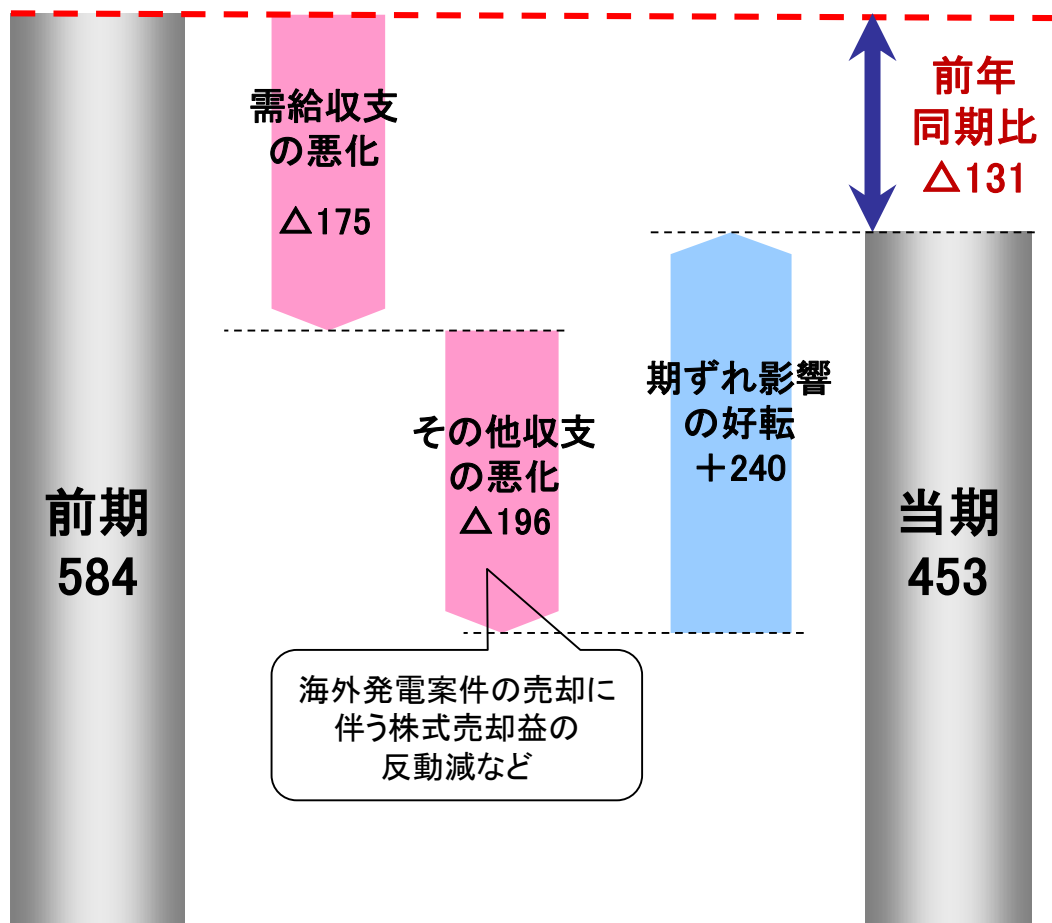
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	※ 1,482	795	△687
4-9月	※ 1,442	633	△809
4-12月	1,483		
4-3月	1,529		

※ 当期との比較のため、前年4-6、4-9月はHD-RP間で値を組み替えている

経常損益

(単位:億円)



収支構造

主な利益はJERAの需給収支などによる持分法投資損益

期ずれ影響(JERA持分影響) (単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-9月	+320	+560	+240

経常損益

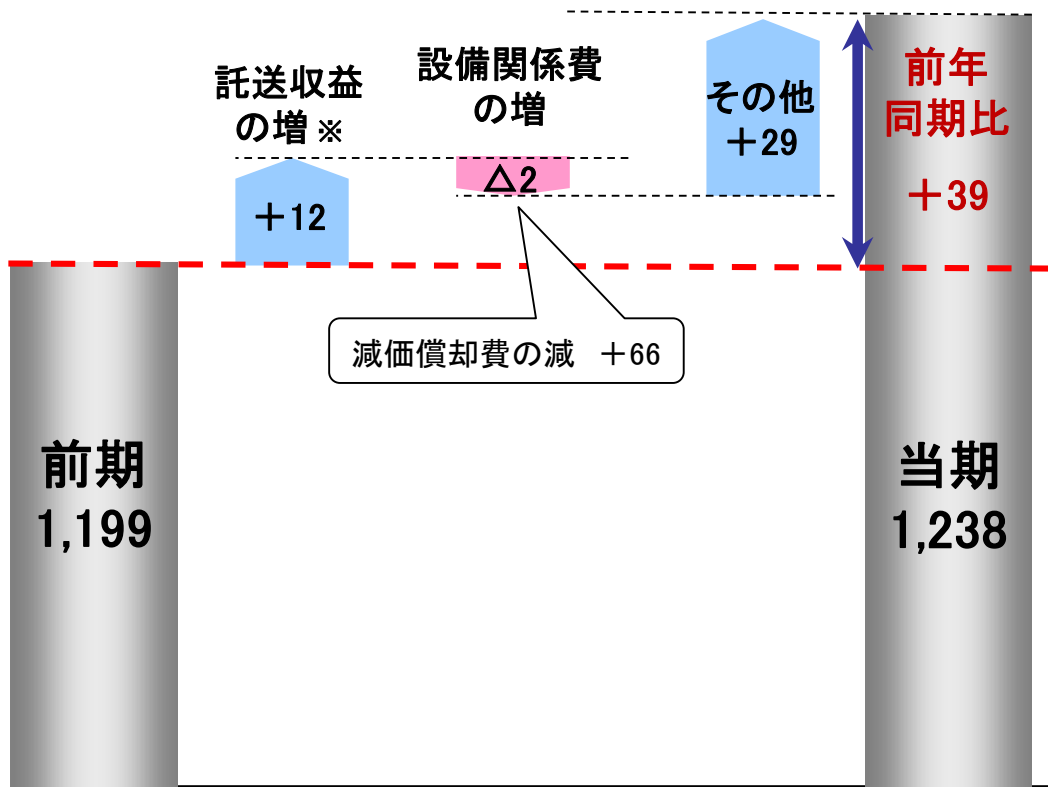
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	458	92	△365
4-9月	584	453	△131
4-12月	623		
4-3月	647		

(参考) PG前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

売上は主に託送収益で、エリア需要によって変動。
費用は主に送配電設備の修繕費や減価償却費など

エリア需要

(単位:億kWh)

	2019年度	2020年度	増減
4-9月	1,345	1,313	Δ32

経常損益

(単位:億円)

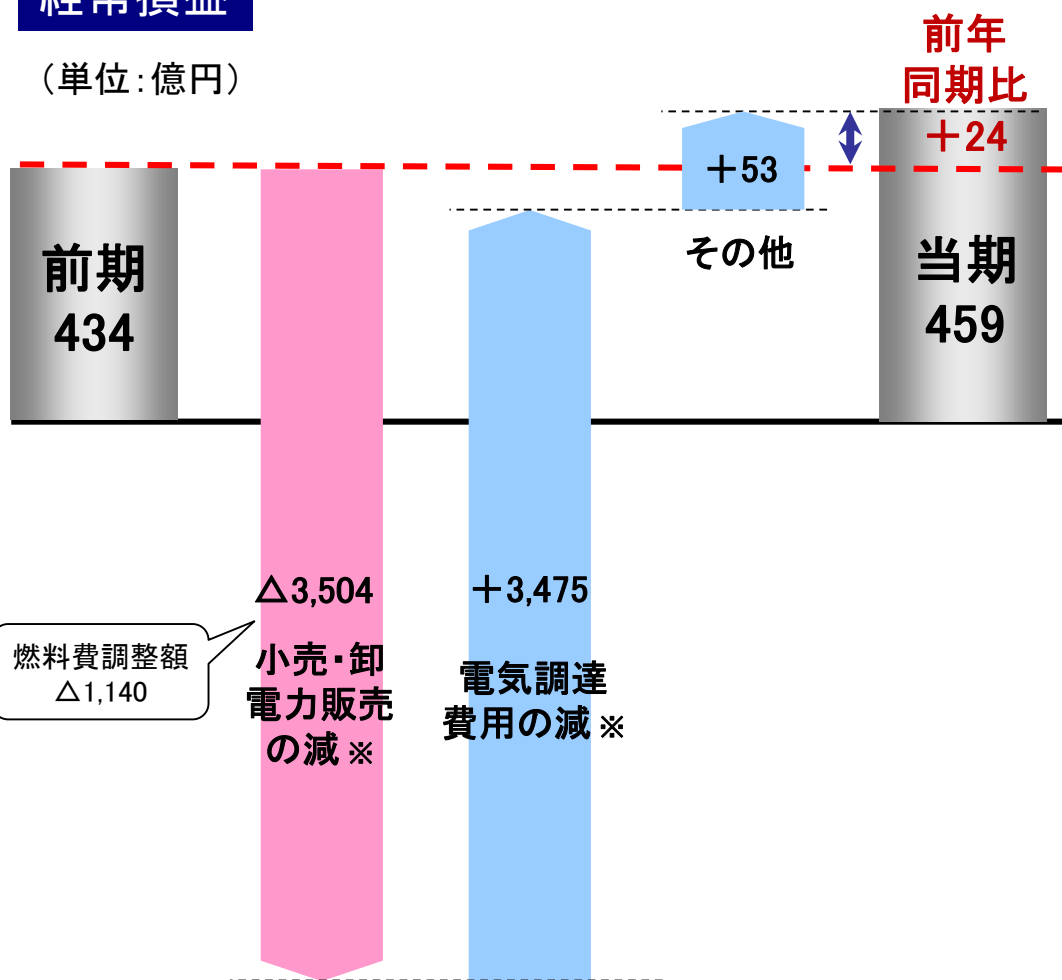
	2019年度	2020年度	増減
4-6月	426	407	Δ18
4-9月	1,199	1,238	+39
4-12月	1,753		
4-3月	1,166		

※ 託送収益はインバランス収支の影響を除いている

(参考) EP前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

売上は主に電気料収入で、販売電力量によって変動。費用は主に購入電力料や接続供給託送料など

販売電力量

(単位:億kWh)

	2019年度	2020年度	増減
4-9月	1,118	1,025	△93

ガス件数 (EP単体)

2020年3月末	2020年9月末
約113万件	約118万件

経常損益

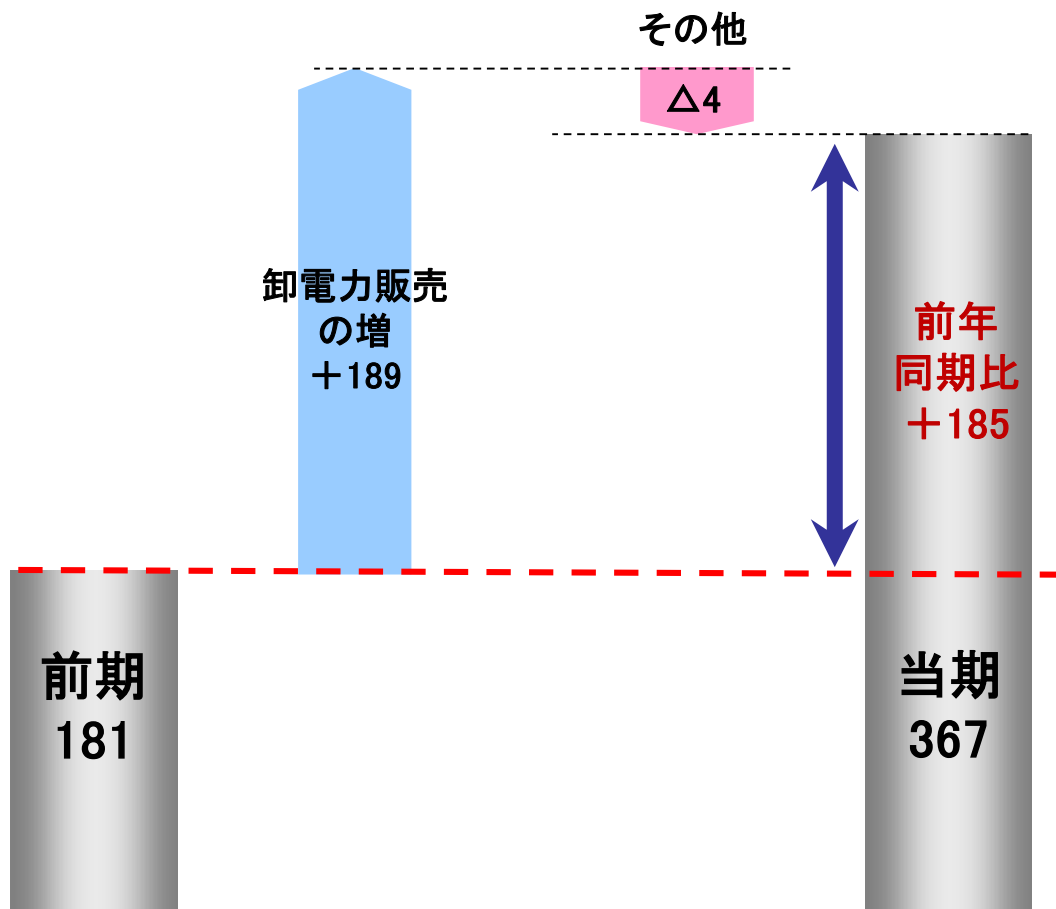
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	△120	112	+232
4-9月	434	459	+24
4-12月	546		
4-3月	600		

※ 小売・卸電力販売、電気調達費用はともに間接オークションによる影響を含んでいる
託送費用はインバランスを除いた影響を小売・卸電力販売から控除し、インバランスの影響を電気調達費用に加えている

経常損益

(単位:億円)



収支構造

収益の大部分は水力・新エネルギーの卸電力販売
費用は主に減価償却費や修繕費

出水率

(単位:%)

	2019年度	2020年度	増減
4-9月	98.1	103.3	+5.2

経常損益

(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	※ 81	178	+96
4-9月	※ 181	367	+185
4-12月	-	-	-
4-3月	-	-	-

※ 当期との比較のため、前年4-6月、4-9月はHD-RP間で値を組み替えている